

「読み」の授業研究会・長野サークル

2024長野読み研大学習会



信州も紅葉シーズンを迎えました。秋といえば、恒例の長野読み研の学習会です。今年で14回目を数えます。毎回少人数ではありますが、「わが信州においても、本当に力がつく国語の授業実践を研究し、広めたい」の一心で、この取り組みを続けてきています。特に「教え込むのではなく、議論のできる国語教室を」ということで、『読み』の授業研究会に学び、「主体的な学び」が目に見える授業論を追究してきています。皆様のご参加をお待ちしています。

とき

11月23日(土・祝)、24日(日)

(23日)13:00~18:00 (24日)9:00~12:00

ところ

エデュカルトリア佐久教育会館 大会議室

佐久市岩村田3098-1 エデュカルトリア佐久教育会館 (裏面に地図あり)

テーマ

「主体的な学び」を実現する教材研究力と指導言を追究しよう

参加費

300円 (資料代・・・対面参加者のみ)

日程

	12:30	13:00	13:10	13:30	15:00	15:20	16:50	17:10	17:50	18:00
23日・土	役員集合	受付	開会行事	基調講座	講座Ⅰ「星の花が降るころに」 教材研究力と指導言の追究	休息	講座Ⅱ「走れメロス」 教材研究力と指導言の追究	休息	実践交流 & 諸課題	連絡等
24日・日	役員集合	9:00	講座Ⅲ「『不便』の価値を見つめ直す」 教材研究力と指導言の追究	10:20	休息	10:30	講座Ⅳ「作られた『物語』を超えて」 教材研究力と指導言の追究	11:50	閉会行事	12:00

1日目の日程終了後、佐久平駅周辺の居酒屋で懇親交流会を行います。都合のつく方は是非ご参加ください。

模擬授業風講座の内容

- I: 小説「星の花が降るころに」(光村中1・安藤みきえ)について、構造よみに基づいた、読むべき伏線の取り出しと、「深い学び」につながる形象よみを追究したいと思います。[担当者 武田純志・芦原中]
- II: 小説「走れメロス」(光村中2・太宰治)について、長い作品をどう時間制限に合わせて効果的に読むか、それを「終結部の形象よみ」という新しい読みにつなげたいと思います。[担当者 林下 勉・福島小]
- III: 論説文「『不便』の価値を見つめ直す」(光村中1・川上浩司)について、特に「論理よみ」の指導過程で、具体例が「仮説」の「論証」になっているかを「吟味」したいと思います。[担当者 梅田浩行・佐久東中]
- IV: 論説文「作られた『物語』を超えて」(光村中3・山極寿一)について、難しいとされる「構造よみ」を追究し、それを、「論理に矛盾はないか(批判的吟味)」につなげたいと思います。[担当者 土屋大輔・臼田中]

申し込み方法

オンライン参加希望者は事前に事務局にメールください。対面は必要ありません。

長野読み研大学習会・事務局1 中沢照夫(090-2643-6736)

〒386-0603 小県郡長和町古町1229 nakateru@avis.ne.jp

事務局2 梅田浩行(佐久東中) hotrockjam@hotmail.com

「読み」の授業研究会
読み研



- ※ お車で来場の場合、エデュカルトリア佐久教育会館の入り口は県道138号線に面していますが、片側2車線の道路であるため、進行方向が中込方面（南東方面）でないと入れません。また、出る場合も同方向からでないと出られませんのでご注意ください。
- ※ 対面による参加を推奨します。オンライン参加にも可能な限り対応したいと思いますが、専属で対応できる人員、機器、技術を有しておりません。何かと不具合等が生じることが懸念されますが、ご承知ください。
- ※ オンラインのミーティング ID については、メールにてお知らせします。オンライン参加希望の方は nakateru@avis.ne.jp まで、「参加希望」の旨と「携帯番号」（オンライントラブルが生じたときの連絡用）をメールで送信してください。講座の資料については、事前に送れるものはメールで、当日用意されたものについては Zoom のチャットに貼り付けて送ります。